

令和 7 年度

鶴岡市プレーパーク展開事業報告書

鶴岡市

令和 8 年 3 月

委託事業者 特定非営利活動法人クリエイトひがしね

目次

はじめに.....	- 2 -
1. 本事業の目的.....	- 2 -
2. プレーパークとは.....	- 2 -
(1) 目的と効果.....	- 2 -
(2) プレーパークの特徴.....	- 2 -
3. プレーリーダーとは.....	- 3 -
事業の概要.....	- 4 -
1. 実施のねらい.....	- 4 -
2. 実施内容.....	- 4 -
(1) プレーリーダー養成講座「みんながプレーリーダー」.....	- 4 -
(2) プレーパーク体験会「つるおかにプレーパークがやってきた！！」.....	- 5 -
(3) プレーパーク展開事業報告会.....	- 5 -
3. 広報.....	- 6 -
事業実施の結果.....	- 9 -
1. プレーリーダー養成講座「みんながプレーリーダー」.....	- 9 -
(1) 講座カリキュラム.....	- 9 -
(2) 受講者アンケートの結果.....	- 14 -
2. プレーパーク体験会「つるおかにプレーパークがやってきた！！」.....	- 17 -
(1) 遊びのレイアウト.....	- 17 -
(2) 来場者.....	- 18 -
(3) 会場の様子.....	- 19 -
(4) 参加者アンケート結果の概要.....	- 21 -
3. プレーパーク展開事業報告会.....	- 23 -
(1) 開催日及び会場、内容.....	- 23 -
(2) 意見交換の主な内容.....	- 23 -
(3) 総括の主な内容.....	- 24 -
プレーパーク展開事業の総括.....	- 25 -
1. 得られた成果について.....	- 25 -
(1) プレーリーダー養成講座.....	- 25 -
(2) プレーパーク体験会.....	- 25 -
2. 今後の対応・改善点について.....	- 25 -
- 資料 -	- 27 -
「つるおかにプレーパークがやってきた！！」参加者アンケート	

はじめに

1. 本事業の目的

本事業は、令和6年度に策定した「コミュニティ・子育て拠点整備構想」に基づく、旧朝暘第二小学校跡地プレーパーク整備にあたり、プレーパークに欠かせないプレーリーダーの養成及びプレーパークの活動を市民に対し普及・啓発を行うことを目的に実施するものである。

2. プレーパークとは

【プレーパークの定義】

すべての子どもが自由に遊ぶことを保障する場所であり、子どもは遊ぶことで自ら育つという認識のもと、子どもと地域と共につくり続けていく、屋外の遊び場である。

(特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会)

プレーパークでは、できるだけ遊びに禁止行為などの制約を少なくしつつ、プレーリーダーを中心に、子どもたちが大きな怪我にならないような危険管理を行いながら、子どもが「やってみたい」と思ったことを可能なかぎり自由にできるようにしている。

またプレーパークは、子どもが中心の遊び場であるが、保護者だけでなく、地域の人も楽しめるよう、大人が遊びや環境づくりに参画する機会もつくっている。

(1) 目的と効果

プレーパークの目的は、子どもたちが遊びを通じて学び、成長することである。遊びは、子どもたちの発達において重要な要素であり、社交性やコミュニケーション能力、創造性を育む場となる。また、プレーパークは、子どもたちだけでなく、家族や地域の大人たちにも開かれた場であり、地域の交流の場でもある。

このように、プレーパークは単なる遊び場ではなく、子どもたちの成長を支援する重要なコミュニティスペースとも言える。

(2) プレーパークの特徴

自発的な遊び:

子どもたちが自分自身で遊びを企画し、計画することが奨励されており、大人が遊びを指導するのではなく、子どもたちが主体的に遊ぶことが重視される。

自然素材や廃材の利用:

廃材や自然の素材が使われることが多く、子どもたちは自分のアイデアに基づいて様々な遊具や構造物を作ることができ、創造力や問題解決能力が育まれる。

安全で自由な環境:

プレーパークは「安心して楽しめる遊び場」を目指しているが、「安心して失敗し、小さな怪我から学べる場」であることも重要であると考えている。子どもが自分で気付くことができ、それに挑戦するかどうかを自ら判断できる危険を「リスク」、子どもが自分で気付くことが難しく、重大な事故や命に関わる恐れがあり取り除くべき危険を「ハザード」に分け、管理している。

地域社会との連携:

多くのプレーパークは、地域のボランティアや団体によって運営されており、地域社会とのつながりが強く、住民が協力して遊び場をサポートすることが基本となっている。

3. プレーリーダーとは

プレーリーダー (Play Leader) は、子どもの「やってみたい」という遊び心を引き出し、子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境をつくる存在である。また、子どもが安心して遊びの中で挑戦できるよう、安全管理も行い、子どもの育ちを支えている。

また、子どもの気持ちを代弁したり、状況に応じて払わなければならない注意を判断して話しかけたりなど、子どもの視点に立つとともに、大人も含め人と人をつなぎ、地域の人たちとのパイプ役を担う。

【プレーリーダーの定義】

プレーリーダーは子どもが自ら遊び育つ環境づくりの知識と技能を備え、多様な人が参画できる子どもを中心とした遊び場をつくる人のことを言う。

(特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会)

事業の概要

1. 実施のねらい

鶴岡市初の常設プレーパーク整備に向け、子どもや保護者並びに子どもに関わる仕事をしている方等の市民に対し、プレーパークが大切にしている「子どもの自由な遊びの環境」「子どもの遊びによる学びと成長」「遊び場を通じた地域づくり」について知ってもらうことをねらいとし開催する。また、プレーパーク整備及び今後の普及・啓発の取り組みの参考とするため、参加者へアンケート調査を実施する。

実施にあたっては、山形県内の常設プレーパークである「あそびあランド(東根市)」の運営を行っている「特定非営利活動法人クリエイトひがしね」に委託し、クリエイトひがしねがプログラムを企画・実施を行う。

実施体制

主催 鶴岡市 実施 特定非営利活動法人クリエイトひがしね
統括 1名
チームリーダー 1名
コアメンバー 3名
アドバイザー 特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会

2. 実施内容

(1) プレーリーダー養成講座「みんながプレーリーダー！」

①日時、会場、内容

日時	会場	内容
10月4日(土) 10時～16時	鶴岡市役所別棟1号館 第2・3会議室	座学 講義1「プレーリーダーとは?～子どもの遊びと豊かな育ち」 講義2「遊び環境デザイン～安心・安全な場所ので“やってみたい”を育む」
10月5日(日) 9時～17時	鶴岡市中央児童館 「ひろっぴあ」	実地 遊び場の実地体験 安全とリスクのコントロール、はじめての遊び場、振り返り
10月25日(土) 10時～16時	鶴岡市役所別棟1号館 第2・3会議室	座学 講義3「子どもを理解するヒント～遊びから見えてくる世界～」 講義4「遊び場は地域づくり～みんなでつくるプレーパーク～」
10月26日(日) 9時～17時	鶴岡市中央児童館 「ひろっぴあ」	実地 遊び場の実地体験 安全とリスクのコントロール、本質の遊び、振り返り

※ 講義1は公開講座(オンライン)で実施し、公開講座のみの受講も可とする。

※ 5日と26日の実地は、プレーパーク体験会として実施する。

②参加対象

高校生から一般の方（教育関係者、保育士、学童指導員など） 20名（先着順）

※ 鶴岡市以外の住民も対象とする

③参加費

無料

④申込方法

ホームページの専用ページからの申し込み

(2) プレーパーク体験会「つるおかにプレーパークがやってきた！！」

①日程、会場、内容

日時	会場	計画内容
10月5日(日) 10時～16時	鶴岡市中央児童館 「ひろっぴあ」	昔あそび(コマ、ベーゴマ、けん玉)、ジャンボリバーシ、 テーブルホッケー、お絵かき黒板、しゃぼん玉、ハンモック、 ジャンボゲルバーン、段ボール工作など
10月26日(日) 10時～16時	鶴岡市中央児童館 「ひろっぴあ」	昔あそび(コマ、ベーゴマ、けん玉)、ジャンボリバーシ、 テーブルホッケー、お絵かき黒板、ハンモック、ジャンボ ゲルバーン、木工、たき火など

※ プレーパーク体験会は、プレーリーダー養成講座の現地研修の場としても実施する。

※ プレーパーク整備予定地の中央児童館を会場とし、会場の環境や地形に合った遊びを実施するとともに、他の場所でも実施できる汎用性ある遊びも実施する。

②参加対象

乳幼児から大人

③参加費

無料

④申込方法

申し込み不要

(3) プレーパーク展開事業報告会

プレーリーダー養成講座「みんながプレーリーダー!」、プレーパーク体験会「つるおかにプレーパークがやってきた!!」の結果を振り返る報告会を開催し、プレーパーク及びプレーリーダーの普及・啓発を行う。

①日程、会場、内容

日時	会場	内容
12月16日(火) 10時30分~12時	鶴岡市役所別棟2号館 第21・22・23会議室	<ul style="list-style-type: none"> 「プレーリーダー養成講座」の実施報告 「プレーパーク体験会」におけるアンケート結果報告 事業全般における成果と課題について 意見交換会 総括

②参加対象

乳幼児から大人

③参加費

無料

④申込方法

ホームページの専用ページからの申し込み

3. 広報

チラシ

事業周知のため、チラシを10,500枚、ポスター200枚作成し、鶴岡市内の保育所や学校、放課後児童クラブ等へ配布する。

令和7年度 鶴岡市プレーパーク展開事業 募集案内
プレーリーダー養成講座 みんながプレーリーダー!

子どもたちが安心して自由に遊べる環境が減少する中、地域社会全体で子どもの育ちを支えることが重要です。子ども自ら遊ぶ「遊び」と大人も子どもと共に成長する「共育」という2つの理念に基づき、子どもと関わる身近な大人が、遊びの楽しさや子どもと理解を深めるためにプレーリーダー養成講座を開催します。

対象 プレーリーダーに興味のある人
 ＊子どものこともっと理解したい人
 ＊教育・保育の現場で活かしたい人
 ＊まちづくり・地域づくりに活かしたい人

募集対象 高校生から一般の方まで20名程度
 (教育関係者、保育士、学童指導員など)

スケジュール
 10/4(日) 10:00~16:00 鶴岡市役所
 10/5(月) 9:00~17:00 鶴岡市役所「ひろっぴあ」
 10/25(日) 10:00~16:00 鶴岡市役所「ひろっぴあ」
 10/26(月) 10:00~17:00 鶴岡市役所「ひろっぴあ」

アクセス
 鶴岡市役所 別棟2号館2-3会議室
 〒997-0035 鶴岡市馬場町2丁目25番
 鶴岡市中央児童館 「ひろっぴあ」
 〒997-0809 鶴岡市津津町1-1

お問い合わせ・お申込み
 クリエイトひがしね
 TEL. 0237-43-0734
 二次応募も申し込み可能
 専用フォームよりお申込みください

つるおがに プレーパークが やってきた!!

10/5日・26日 10:00~16:00 参加無料

鶴岡市中央児童館「ひろっぴあ」 〒997-0809 鶴岡市津津町1-1
 持ち物・着替えと遊び心! 雨天決行・出入自由・申込不要!

Q. プレーパークってなに?
 A. 子どもたちが自由に遊べる「遊び場」です。ここでは、可能な限り禁止事項をなくし、子どもたちの好奇心を大切にしています。プレーパークという大人が、みんなが「やってみたい!」を覚えます。

Q. どんなんことができるの?
 A. 大人に遊び、未整り、秘密基地づくり、たき火、工作など、その日の気分やアイデアで遊びは無限に広がります。決まった遊び道具や遊び方はありません。遊びを通して、子どもたちは自然の中で大人、工芸士、画家などと協力することを学びます。

Q. 安全なの?
 A. プレーパークは、子どもたちが自由にのびのびと遊べる場所です。遊びの中には、挑戦した結果、ちょっとしたケガにつながることもあります。多少のケガは、子どもたちが生きていく上で大切な経験になっていくと考えています。「遊びの場面に配慮した安全管理」を行うプレーリーダーが、遊びの様子を見守っています。怪しいことがあれば、いつでも声をかけてください。

鶴岡市プレーパーク展開事業
 特定非営利活動法人クリエイティブがしね tel. 0237-43-0734 担当: 村山・堀江
 鶴岡市 後援: 鶴岡市教育委員会

WEB

①鶴岡市公式ホームページ

鶴岡市公式ホームページにおいて、プレーリーダー養成講座及びプレーパーク体験会の告知を行う。

②特定非営利活動法人クリエイトひがしねホームページ

本事業やプレーパーク、プレーリーダーを紹介する特設ページを開設し、広報を行う。(URL:<https://www.higashine.org/tsuruoka-playpark>)



プレーリーダー養成講座



子どもたちが安心して自由に遊べる環境が減少する中、地域社会全体で子どもの豊かな育ちを支えることが重要です。子ども自ら遊び育つ「**遊育**」と大人も子どもと共に成長する「**共育**」という2つの理念に基づき、子どもと関わる身近な大人が、遊びの本質や子ども理解を深めるために**プレーリーダー養成講座**を開催します。

プレーリーダーとは？ 子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境をつくる存在です。



子どもの遊び心を引き出しながら、大人も含め人と人をつなぎ、こどもの「やってみよう」という雰囲気をつくります。

子どもの視点に立ち、子どもの気持ちを代弁したり、状況に応じて関わらなければならぬ注意を判断して話しかけたり、地域の人たちとのパイプ役など、子どもの育ちを支える存在です。

遊びの価値に配慮した安全管理も担っています。



プレーパークとは

プレーパークとは

プレーパークとは、子どもたちの「やってみよう」を応援する、自由な遊び場で、子どもたちの遊び心を引き出しながら、大人も一緒に人と人をつなぐ場。それが「プレーパーク」です。

ここでは、選だらけになって遊んだり、本に当たったり、秘密基地を作ったり、焚き火を囲んだり・・・子どもたちが主体になって、遊びを自分で見つけ、創り出します。

子どもたちが安心して思い切り遊べるように、プレーリーダーが環境を整え、みんなの挑戦を応援します。子どもはもちろん、昔、子どもだった大人も童心にかえって思いっきり遊んでみましょう。



プレーパークの特徴

自発的な遊び: プレーパークでは、子どもたちが自分自身で遊びを企画し、計画することが奨励されています。大人が遊びを指導するのではなく、子どもたちが主体的に遊ぶことが重視されます。

自然素材や廃材の利用: プレーパークでは、廃材や自然の素材が使われることが多く、子どもたちは自分のアイデアに基づいて様々な遊具や構造物を作ることができます。これにより、創造力や問題解決能力が育まれます。

安全で自由な環境: プレーパークは、安全に遊べる環境を提供することを目的としていますが、それと同時にリスクを取りながら遊ぶことも重要視しています。子どもたちは、自分の限界を知り、挑戦する機会を与えられます。

地域社会との連携: 多くのプレーパークは地域のボランティアや団体によって運営されています。地域社会とのつながりが強く、住民が協力して遊び場をサポートすることが基本となっています。

目的と効果

プレーパークの目的は、子どもたちが遊びを通じて学び、成長することです。遊びは子どもたちの発達において重要な要素であり、社交性やコミュニケーション能力、創造性を育む場となります。また、プレーパークは、子どもたちだけでなく、地域の家族や大人たちにも開かれた場であり、地域の交流の場ともなります。

このように、プレーパークは単なる遊び場ではなく、子どもたちの成長を支援する重要なコミュニケーションスペースともなります。

プレーリーダーとは

プレーリーダー (Play Leader) は、子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境をつくる存在です。子どもの遊び心を引き出しながら、大人も含め人と人をつなぎ、こどもの「やってみよう」という雰囲気をつくります。

子どもの視点に立ち、子どもの気持ちを代弁したり、状況に応じて関わらなければならぬ注意を判断して話しかけたり、地域の人たちとのパイプ役など、子どもの育ちを支える存在です。遊びの価値に配慮した安全管理も担っています。



③特定非営利活動法人クリエイトひがしね Instagram

本事業の実施内容紹介する Instagram アカウント「プレーパーク鶴岡」を開設し、プレーパークの普及を行う。

(URL:<https://www.instagram.com/playpark.tsuruoka/>)





playpark.tsuruoka
プレーパーク鶴岡

投稿9件 フォロワー77人 フォロー中2人

鶴岡市プレーパーク展開事業の「プレーリーダー養成講座」や「つるおかにプレーパークがやってきた!!」などこれから始まる鶴岡市での活動の様子や情報をアップしていきますので、是非ご覧ください。
※コメント・DMなどの個別対応はしておりません。…続きを読む

令和7年度 鶴岡市プレーパーク展開事業 報告会

日 時 令和7年12月16日(火)10:30~12:00
場 所 鶴岡市役所 第2号館 21、22、23号会議室
実施者 特定非営利活動法人クリエイトひがしね

開催しました!

29名の方々に参加いただき、たくさんのご意見や感想をいただきました。プレーパークの意義を語り、プレーリーダーという存在とその必要性を感じてくださったようです。ありがとうございました。

つるおかにプレーパークがやってきた!!

10/5日・26日 10:00~16:00

1 鶴岡市中央児童館「ひさびさ」

天気予報は **いよいよ明日 10/5(日)開催です!**

鶴岡市プレーパーク体験会・プレーパーク養成講座 報告会を開催します



10/5(日)開催



草花で何ができるかな? プレーリーダー養成講座の受講者と一緒に行ってみよう

「つるおかにプレーパークがやってきた!!」を開催予定です。お楽しみに! 「プレーパーク」は、子どもたちが自由に遊ぶことができる場所です。ぜひ遊びに来てみてください!

10/26(日)開催

たき火



焼き芋やマッシュポテトを焼いたよ。火との距離を自分たちで考えます。

10/5(日)開催



段ボールで作ったお家を作ったよ!

つるおかにプレーパークがやってきた!!

10/5日・26日 10:00~16:00

1 鶴岡市中央児童館「ひさびさ」

つるおかにプレーパークがやってきた!!

10/5日・26日 10:00~16:00

1 鶴岡市中央児童館「ひさびさ」

みんなのプレーリーダー!

10/4(日) 10:00~12:00
10/5(日) 10:00~12:00
10/25(日) 10:00~12:00
10/26(日) 10:00~12:00

事業実施の結果

1. プレーリーダー養成講座「みんながプレーリーダー」

(1) 講座カリキュラム

●10月4日(土):座学

9:30	10:00	10:10	10:30~12:00 (90分)	12:00~	13:00~14:30 (90分)	14:40	16:00
受付	開会 挨拶	ガイダ ンス	<講義-1> (ZOOM 配信あり)	昼食	<講義-2>	ふり返り ミーティング	閉会

<講義-1> 「プレーリーダーとは?~子どもの遊びと豊かな育ち」

講師: 関戸博樹氏(特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会)

内容: 遊びの本質/子どもを取り巻く課題/プレーリーダーの役割/など

受講者: 7人 公開講座 受講3人

<講義内容>

・「遊び」の本質について

遊びとは、脳を発達させるために子どもが本能的に行う「生きることそのもの」であり、何かを身につけるためではなく、「やりたいことをやった結果」として育ちがついてくるものである。

・子どもを取り巻く課題について

子どもの育ちは環境問題である。都市化・少子高齢化などの影響で、子ども(18歳未満)1人あたりに対する大人の数が多くなっている。公園内での遊びに制限をかける禁止事項、競争的な教育制度など、子どもは、大人の都合が優先されやすい社会環境の中にいる。

・プレーリーダーの役割について

プレーパークには「子どもは挑戦することで育つ」という考え方があり、プレーリーダーの危険管理は、子ども自身が予測できる危険に挑戦する「リスク」は残し、子どもが予測できない重大な危険である「ハザード」は積極的に取り除くことである。

プレーリーダーは、遊びのプログラムの提供や遊びの指導ではなく、子ども自身が遊びを自由に考え、選ぶ「プロセス」を優先する。

プレーパークは、プレーリーダーのみが遊びの環境をつくるのではなく、利用者や地域と共につくるものであるため、保護者同士や保護者と地域の人の関係をつないだり、調整したりして、大人も参画する仕組みづくりをすることが求められる。

プレーリーダーは、子どもが安全に、かつ自由に遊び育つための環境と文化を作る専門職である。

<講義-2> 「遊び環境デザイン～安心・安全な場所で「やってみたい」を育む」

講師:高橋陽介(特定非営利活動法人クリエイティブひがしね)

内容:あそびの環境づくり/あそびを考える/リスク管理など

受講者: 8人

<講義内容>

・遊びの環境づくりについて

プレーリーダーは子どもに遊びを教える先生ではなく、子どもたちの遊び環境づくりの「サポート・調整役」であり、物理的(遊具や素材)、心理的(遊びやすい空気感)、人的(友達や大人)、社会的(時間やルール)な4つの環境を整える役割を担う。「遊び方が決まった遊び」ではなく、子ども自らが試行錯誤して遊びをつくりかえられる「遊び方に伸びしろ(余白)がある遊び」が非常に大切である。

・遊びを考える

市販のおもちゃではなく、ダンボールや枝などのシンプルな素材は、素材の遊びだけでなく、素材を組み合わせること(遊びのかけ算)で新しい遊びが生まれる(物理的)。

大人は、遊びのルールを決めたり、次の遊びを提案したりといった「遊びの先導」をしすぎず、子どもたちが自分で遊びを広げられるよう、適切なタイミングでプレーリーダーが子どもの輪から抜ける引き際を見極めることが重要である(心理的)。

子どもの遊びは、大人の価値観ではなく、「今、この子がどんな視点で物事を見つめ、感じているか」という、子どもの価値観で見る「遊びのレンズ」を通し、子どもの行動を理解することが重要である。

・リスク管理

リスクとは、子どもの挑戦心をかきたてる「ちょっと危ない遊び」のような、子ども自身が遊びにおける怪我を予測できる危険で、子どもの成長に必要な経験のことを言う。子どもが乗り越えられるリスク(挑戦)を遊び場の中に残すことが大切である。

ハザードとは、子どもでは予測できない、重大な危険であり、大きな怪我や命に関わるため、積極的に取り除く必要がある。子どもの遊びにおける安全管理では、危険を「リスク」と「ハザード」に分け、ハザードを取り除く管理の方針を持つことが重要である。

●10月5日(日):実地

9:00~	10:00 ~ 16:00	16:00	17:00
ミーティング	<実地研修-1> 遊び場の実地体験	ふり返りミーティング	解散

<実地研修-1> 同日開催した鶴岡市プレーパーク体験事業「つるおかにプレーパークがやってきた!!」において、プレーリーダーの実地研修を行った。

講師:高橋陽介、齋藤翔太、細谷由紀、村山恵子(特定非営利活動法人クリエイトひがしね)

受講者:6人

①安全とリスクをコントロールする「開園前点検」

点検は、プレーパークにおいて最も重要なことの一つであり、実施研修においても徹底した安全点検から始めた。受講生は開園前の会場を歩き回り、「遊びの要素」を見つけ出すとともに、「リスク(子どもが挑戦すべき価値ある危険)」と「ハザード(大人が取り除くべき重大事故の原因)」を洗い出した。ミーティングではこれらを共有し、ハザードを確実に排除した上で、「何でもあり」の自由を支える安全な土台をチームで構築した。

②遊びの環境構成

鶴岡で初開催ということもあり、多くの親子がスムーズに安心して遊びに入れるよう、子どもでも加工しやすい段ボールを大量に用意し、どこの場所からも見えやすい丘の上に設置した。また、体験会場は駐車場から離れており、建物の影になって見えにくいいため、誘導動線の起点として、駐車場からでも見えやすい会場入口付近に、遊びの内容がわかりやすく、遊びやすい昔あそび(コマ、けん玉)やお絵描き黒板、ハンモック等を設置した。乳幼児親子がゆったりと過ごせるようにゴザも準備した。

その周辺に、素材などを配置し、遊びを子ども自身が広げられるようにした。

③「ふり返り」による学びの定着

実地研修の最後には、学びにおいて最も重要な「ふり返り」の時間を設けた。

受講者が深い気付きを得るため、自身の行動を客観的に書き出し、グループで共有化を行った。

●10月25日(土):座学

9:30	10:00	10:30~12:00 (90分)	12:00~	13:00~14:30 (90分)	14:40	16:00
受付	ガイダンス	<講義-3>	昼食	<講義-4>	ふり返りミーティング	閉会

<講義-3> 「子どもを理解するヒント～遊びから見えてくる世界～」

講師:庄司美保子(特定非営利活動法人クリエイティブひがしね)

内容:子どもが育つために必要なこと/外遊びの重要性/ナナメの関係性など

受講者: 6人

<講義内容>

・子どもが育つために必要なことについて

子ども、特に乳幼児期の子どもが、健康的な生活をおくるために欠かせない要素は「食べる」「寝る」「遊ぶ」である。「食べる」と「寝る」は元気な体をつくり、「遊ぶ」は元気な心をつくる。

・外遊びの重要性について

乳幼児期は、五感を養うことが重要と言われている。外遊びで触れ合うことのできる自然には、「ザラザラ、ツルツル、硬い、軟らかいなど多様な体感の素材」「葉、土、水、木などの自分の力で変化させることができる素材」「想定外のものとの出会う環境」が多くあり、子どもが五感をフル回転させることができる。

・ナナメの関係性について

「ナナメの関係性」は、子どもと親や先生の「縦の関係」、子どもと同年代の友達の「横の関係」ではなく、子どもと地域の大人や異年齢の子どもとの関係性である。

「ナナメの関係性」は、親や同世代とは異なる考え方、行動、価値観等と出会うことができ、子どもの視野や考え方が広がる。プレーリーダーはこのナナメの関係性を担う存在であり、ナナメの関係性をプレーパークの利用者同士で構築する手助けをする存在でもある。大人は子どもの力を信じ、否定や誘導をせず、感情を評価しない温かい眼差しで見守ることが重要である。

<講義-4> 「遊び場は地域づくり～みんなでつくるプレーパーク～」

講師:村山恵子(特定非営利活動法人クリエイティブひがしね)

内容:子どもの最善の利益/大人の関わり/遊び場と地域づくり

受講者: 6人

<講義内容>

・子どもの最善の利益について

子どもには、ルールに縛られずありのままの自分を発散できる場が必要であり、そのような場所が「最善の利益(ウェルビーイング)」を実現する場所である。

・大人の関わりについて

失敗や悔しさといった「負の感情」こそが、子どもの成長の重要な要素であり、大人は、それを奪ってはならない。大人の役割は、子どもの遊びを邪魔せず、自分自身の情動の安定を保ち、多様な子どもを受け入れることである。

・遊び場と地域づくりについて

プレーパークは子ども、親、地域が共に育ち合う「共育(ともいく)の場」である。そのような場(地域)を、子どもは、ありのままの自分を許容してくれる「心の故郷」と思えるようになる。

●10月26日(日):実地

9:00~	10:00 ~ 16:00	16:00	16:45	17:00
ミーティング	<実地研修-2> 遊び場の実地体験	ふり返り ミーティング	修了式	解散

<実地研修-2> 同日開催した鶴岡市プレーパーク体験事業「つるおかにプレーパークがやってきた!!」において、これまで受講した講座や1回目の実地研修を活かし、プレーリーダーとしての実施研修を行った。

講師:高橋陽介、細谷由紀、齋藤翔太、村山恵子(特定非営利活動法人クリエイトひがしね)
受講者:7人

①安全とリスクをコントロールする「開園前点検」

1回目の実施研修と同様に、徹底した安全点検から始めた。1回目と異なり、2回目の天候が雨であったことから、雨天における「遊びの要素」と「リスク」及び「ハザード」の違いを考えながら、会場を歩き回り洗い出しを行い、ミーティングでこれらを共有した。

②遊びの環境構成

雨の中で深まる「本質の遊び」

天候が雨となったこの日は、「木工」や「たき火」を導入した。マシュマロ焼きやべっ甲飴づくりを通じ、雨の日ならではの楽しみ方を子どもや保護者に提案した。

敷地内にある建物の屋根(軒下)や樹木を雨除けとして利用して遊びのエリアを配置した。

③「ふり返り」による学びの定着

1回目の実地研修と同様に、「ふり返り」の時間を設けた。「この子は今どんな思いで遊んでいるのだろうか?」という「遊びのレンズ」と「子ども理解」を深めることができる「観察」「実践」「振り返り」を繰り返すプロセスを行った。

<修了式> 4回すべての講座・実地研修をした受講者には、修了したことを証明する「修了証」を発行した。

なお、受講者は、養成講座申し込み当初、全て出席を予定していたが、数名が仕事の都合等により一部講義を欠席せざるを得ない状況となった。

そのため、欠席以外の講義を受講した証明を発行し、未受講の講義については次年度以降に受講できる仕組みとして実施した。

(2) 受講者アンケートの結果

①設問「受講の動機について」:

受講者の多くは、「現在の仕事（保育士や子育て支援等の子どもと関わる仕事）のスキル向上」や「子どもの遊び環境を整えたい」という動機で受講していた。

<受講者の主な動機>

- ・児童館の遊園遊びの幅を広げたいから
- ・子どもの"やりたい.やってみたい"を、もっと、まっすぐにうけとめ育む保護者（保育者）になる学びを求めたから
- ・子どもの遊びの環境づくりを学ぶよい機会だと感じたから

②設問「講座の満足度について」

ほとんどの受講者がカリキュラムに満足しており、特に実践を通じた学びと仲間との学びの満足度が高かった。

日にち	受講者数	回答
10月4日(土)	8人	満足 75%(6人)・ やや満足 25%(2人)
10月5日(日)	6人	満足 100%
10月25日(土)	6人	満足 100%
10月26日(日)	7人	満足 85%(6人)・不明 15%(1人)

<受講者の主な感想>

●1日目(講義1・講義2)

- ・ プレーリーダーとしての心構えや考え方、接し方を学び、子どもの遊びが何たるかを再認識できた。
- ・ リスクとハザード、遊びと活動の違いなど気づかされたことが多くあった。
- ・ 子どもの教育、遊育といった基礎部分を学ぶことがなかったため、その知識を少し理解することができた。プレーリーダーは、遊びの先生と思っていたが、そうではないことを学べた。

- ・ 全員で遊びをつくることでカチカチの頭をほぐすことができた。

※やや満足度の理由

- ・ 仕事の都合がつかず一部受講できなかつたため。
- ・ 基礎的な考え・知識部分について再確認できたが、実践がまだのため。

●2日目(実地1)

- ・ プレーパーク、プレーリーダーの実際の様子を見て体験することができた。
- ・ 座学で学んだことを次の日すぐ実践できることは、気づきにもつながるし、改善することもでき、とても良い。
- ・ 仲間で動いているからこそ、仲間の動き方や声のかけ方も勉強できた。

●3日目(講義3・講義4)

- ・ プレーリーダーの役割を学び、自分の仕事を振り返り、今後につながると感じた。
- ・ 講義で使われた子どもの姿(写真)を見て様々な気づきがあり、実践への気持ちにつながった。
- ・ プレーリーダーが大切にしていることを知り、前回の実践の課題を学びなおせた。

●4日目(実地2)

- ・ プレーパークのことを「学んでみたい」という思い、気持ちが満たされた。
- ・ 他の受講者の様々な角度の考え方も勉強になった。
- ・ 晴天時、雨天時の実践ができたこと、外遊びの幅が広がり良かった。

③設問「講座を受講しての気づき・学びについて」

受講生の多くが、子どもの遊ぶ力の向上、遊びによる成長は、子どもに対する大人の関わり方が重要であると感じていた。

- ・ あそび(play)と活動(activity)の違いを知り、活動に寄ってしまいがちであることに気づき、大人が方向性を決めないことの大事さを学んだ。
- ・ 大人の巻き込み方は、声かけや働きかけで、くり返しの関わりの中で築かれていくと思った。
- ・ 砂あそびと段ボールあそびでは、子どもが入れ替わり、その様子を見て、更に自分流の遊びへと変化させて楽しむ姿が見られ、整えすぎないこと、片付けないことで遊びが深まることを学んだ。
- ・ 「せかさない、あせらない、導かせない」という言葉がすごく響いた。つい、こうしたらいいのになってしまうが、寄り添いの手順を知ったことで、まず立ち止まって子どもを見る、“子どものすることには全て意味がある”からこそ、大人が待つことが大切と知った。

- ・ 子どものそばにいる大人（環境）によって、子どもの自由度（はっちゃけ具合）・心の解放度が変わると感じた。
- ・ 失敗を許される、ずっとやり続けられる環境が大きく影響するのだと感じた。
- ・ 天候や素材、居合わせた人たちとの一期一会の遊びであり、出会いをプレーリーダーがさり気なくサポートして見守ることを知った。
- ・ 複数のプレーリーダーが広くそして細やかで温かい心の目でみている安心感ある環境をチームで作れているからプレーパークは成り立つと思う。

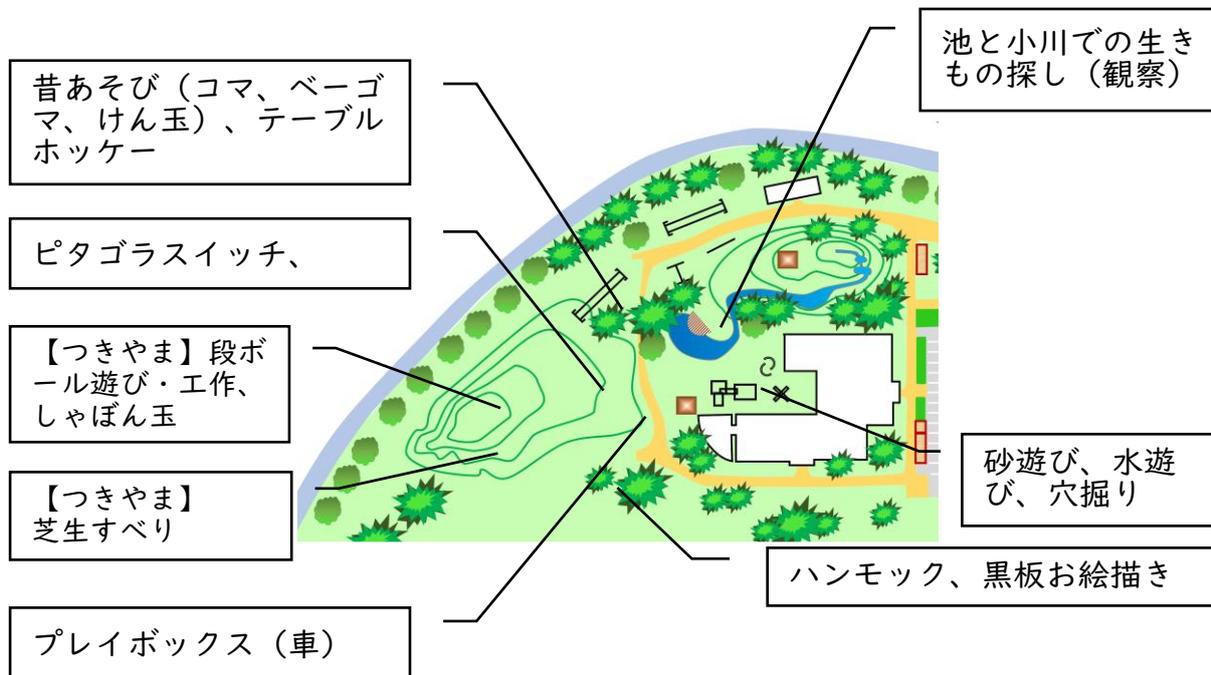
④設問「もっと学びたい」と思ったことについて

- ・ 子どもの成長を見守る保護者の目線での働きかけ。
- ・ 危険の排除の段階で何を残し、何を削るか環境への配慮について。
- ・ 遊びのきっかけ作り、保講者・子どもとの距離感、声のかけ方（具体的な話しかけ等）
- ・ 親同士、地域の人、子どもと子どもをつなぐということ。どうするか（Do）多様でいい、Why（なぜ、なんのために）のスタッフ間の理解。
- ・ 子どもの「やってみたい!」「いいこと思いついた!」と自発的に主体的に遊びだせる環境づくりや天候や雰囲気を見て遊び心を誘い出すセンスなど。

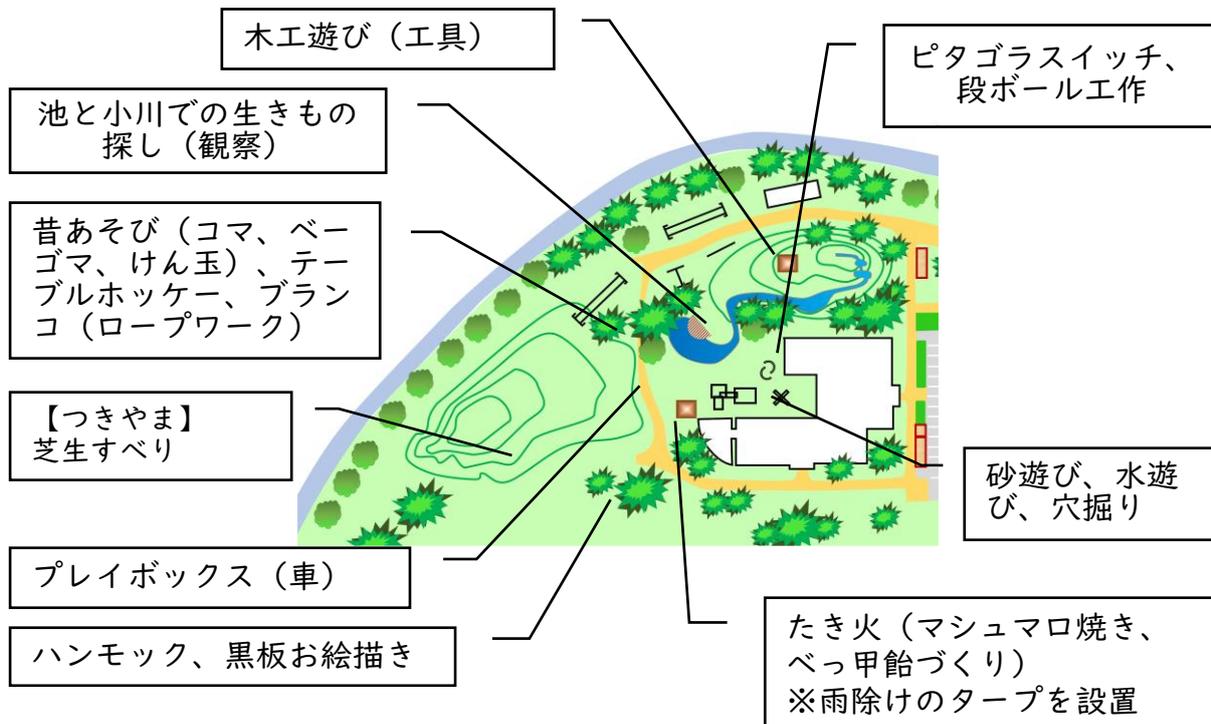
2. プレーパーク体験会「つるおかにプレーパークがやってきた！！」

(1) 遊びのレイアウト

10月5日



10月26日



(2) 来場者

①日別参加者数

日にち	組数(組)	子ども(人)	大人(人)	合計(人)
10月5日(日)	90	155	122	277
10月26日(日)	38	56	39	95
合計	128	211	161	372

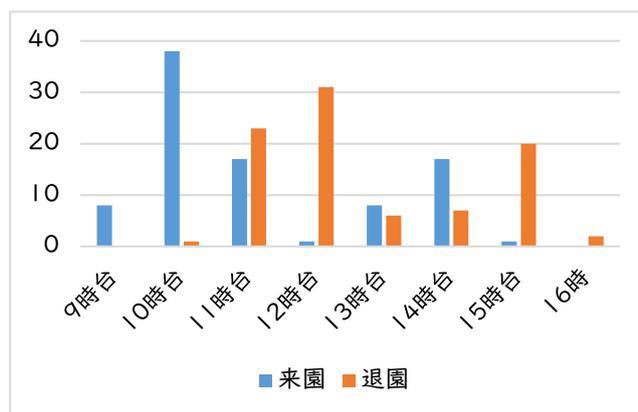
②来園・退園時間と滞在時間

10月5日(日) 天気:曇り

	気温(℃)	来園(組)	退園(組)
9時台	23.3	8	0
10時台	24.1	38	1
11時台	24.1	17	23
12時台	26.0	1	31
13時台	26.6	8	6
14時台	25.8	17	7
15時台	25.1	1	20
16時	23.4	0	2

平均滞在時間:約1時間32分

(単位:組)

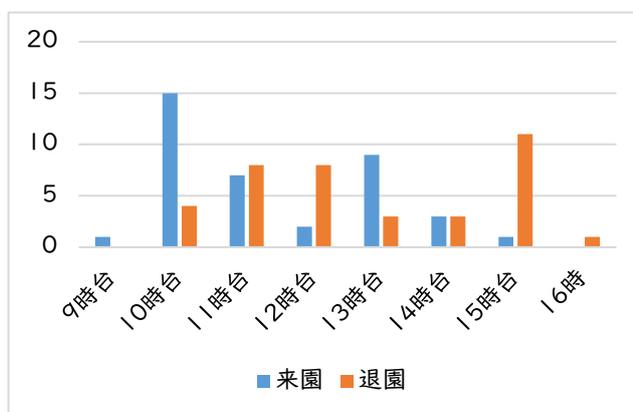


10月26日(日) 天気:曇り時々雨

	気温(℃)	来園(組)	退園(組)
9時台	14.2	1	0
10時台	15.0	15	4
11時台	17.0	7	8
12時台	16.3	2	8
13時台	16.6	9	3
14時台	16.9	3	3
15時台	16.6	1	11
16時	15.8	0	1

平均滞在時間:約1時間20分

(単位:組)



※但し、天候不良のため中央児童館と行き来する方が多く、中外合計の滞在時間で算出。

③地域別参加者数

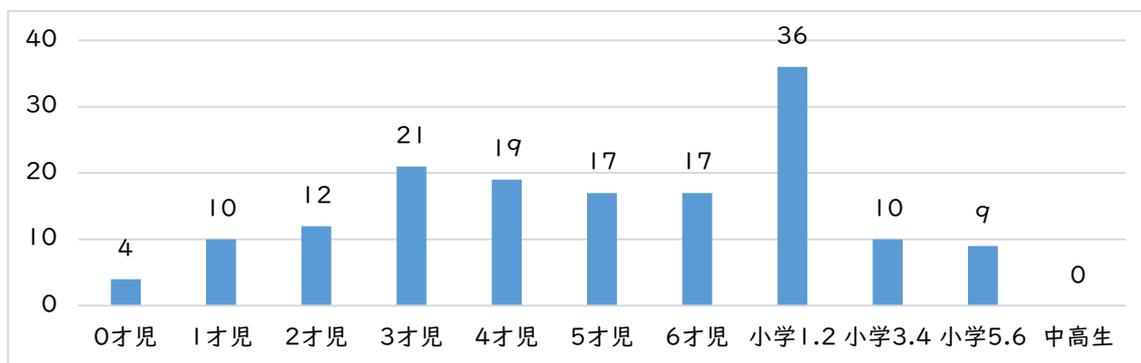
(単位:人)

開催日	地域名						その他			合計
	鶴岡	藤島	櫛引	朝日	温海	羽黒	酒田市	新庄市	東根市	
10/5(日)	243	6	4	0	0	22	2	0	0	277
10/26(日)	81	0	3	0	2	4	0	2	3	95
合計	324	6	7	0	2	26	2	2	3	372

④子どもの年齢別参加者数

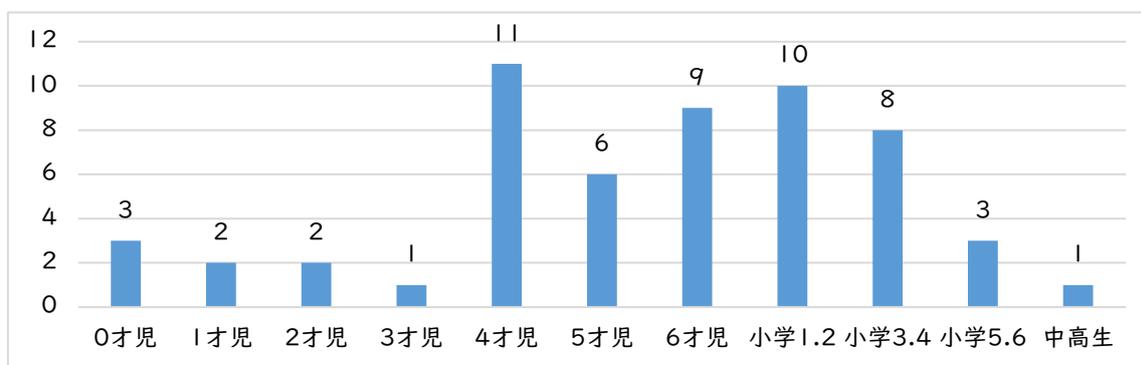
10月5日(日)

(単位:人)



10月26日(日)

(単位:人)



(3) 会場の様子

10月5日

- ・ 子どもたちは、丘の上に配置した段ボールで、秘密基地やお城、剣などを自由な発想で次々と作り出していた。
- ・ ビー玉転がし(コロコロメーカー)に夢中になる子の傍らでは、小学生が幼児に自然に声をかける姿も見られた。
- ・ 水場や砂場、樹木を使ってハンモックを設置し、プレイボックスなどがある場所では、初めて挑戦する子どもたちが多く、子どもの冒険心を刺激した様子が見られた。
- ・ ハンモックやお絵描き黑板がある場所には、多くの家族が集まる様子が見られた。
- ・ プレーリーダーが居り、保護者にも安心感が生じたためか、初めて母親から離れて遊びに踏み出す子どもの姿も見られた。
- ・ 保護者からは「近くに砂場がないので、初めての体験ができて嬉しい」「子どもならではの視点を知ることができて面白い」という声が聞かれた。



10月26日

- ・雨天であったため、雨よけのブルーシートを張り、その下で「たき火」を行うと、自然に子どもたちが集まり始めた。火を使ったマシュマロ焼きやべっ甲飴づくり、焼き芋では、多くの親子が集まり、賑わいをみせていた。
- ・屋根のある東屋において、木工工作を行った。子どもたちがのこぎりと金槌、釘を手に、一心不乱に工作に没頭する姿があった。
- ・雨具を整えて来園した親子の姿も見られ、晴れの日と変わらず水遊びや砂遊びを行う姿が見られた。
- ・「雨でも楽しく遊べた」「雨の中で普段できないことに挑戦できた」という子ども、保護者の声がある一方で、「雨のため、子どもが室内に行きたくなくなってしまい、思い切り遊べなかった」という声もあった。



(4) 参加者アンケート結果の概要

(詳細は、資料-プレーパーク体験会アンケート結果を参照)

●利用者の満足度(問:今日のプレーパークの満足度を教えてください)

開催日		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
10月5日	子ども	67%	28%	2%	3%	0%
	大人	59%	33%	5%	3%	0%
10月26日	子ども	88%	4%	8%	0%	0%
	大人	79%	10%	11%	0%	0%

<主な理由(自由回答)>

- 「子どもが好きな遊びでじっくり遊べていた」
- 「全力で遊べた」
- 「自由に工作遊びができた」
- 「普段できない汚れる遊びもできた」
- 「外遊び大好きなので、自然の中のびのびと遊べてとても楽しかった」
- 「汗だくでお腹が空いたのも忘れるくらい楽しんでいた」

●参加者の要望(問:プレーパークに参加してみても感想を教えてください)

<主な要望(自由回答)>

- 「ガムテープやハサミなど、もう少し道具が欲しい」
- 「遊べる道具や遊具が少なく思ったより楽しめなかった」
- 「高学年向けの遊び場をもっと考えてほしい」
- 「雨天でも遊べるアクティビティをもっと用意してほしい」
- 「温水シャワーがあると良い」
- 「屋外での自由な遊びを楽しむための安全対策が必要」

●子どもと保護者が求める“遊び”の違い

利用者アンケートで、保護者に「子どもに、どんな遊びをして欲しいですか」と質問した結果、最も多い回答は、“自然とのふれあい”“川遊び”などの「自然体験・環境学習のカテゴリ」であった。

一方、子どもに「どんな遊びが好きですか」と質問を行った結果は、“ブランコ”“すべり台”などの「遊具・施設」のカテゴリが最も多く、保護者が子どもに求めている遊びと、子どもが好きな遊びに、ギャップが見られた。

●その他

「鶴岡市にプレーパークが必要か？」の問いにおいて、10月5日の利用者は79%、26日の利用者は92%が「必要」と回答があった。その理由（自由記載）については、「屋外の遊び場が少ない」という回答が最も多かった。

また、「思う存分遊ぶことができた。担当の方々が良い感じで声掛けしてくれたり、一緒に遊んでくれたり、安心感があった」と、子どもを見守る大人（プレーリーダー）がいることへの評価がある一方で、「管理する人がいないとケガのリスクがある」など、子どもの怪我に対する心配も見られる。

3. プレーパーク展開事業報告会

(1) 開催日及び会場、内容

開催日 令和7年12月16日(火) 10時30分～12時(90分)

会場 鶴岡市役所 別棟2号館 21、22、23号会議室

参加者数 33人

内容 「プレーリーダー養成講座」の実施報告

「プレーパーク体験会」におけるアンケート結果報告

意見交換会

総括 事業の講評、プレーパーク整備に向けたアドバイス

(2) 意見交換の主な内容

意見交換における主な内容は以下のとおりである。

【期待・関心事】

「鶴岡市にもぜひプレーパークがほしい」という期待の声が多数挙がった。

また、子どもが自ら選ぶ「遊び」は権利であり、健やかな育ちに欠かせないという考え方、子どもの遊びでは「上手だね」「できたね・できなかったね」などの「評価しない大人」の存在が子どもの自己肯定感を育むことに重要であるという考え方に、多くの関心があった。

プレーパーク利用者のアンケート結果において、子どもがやりたい遊びは「既存の遊具で遊ぶこと」が最も多く、一方で、大人が理想とする遊びは「自然体験」であり、この子どもと大人のギャップに関心が集まった。

【不安等】

安全管理と責任の所在について、「万が一事故が起きた際、誰が責任を取るのか」という、運営上のリスク管理に対する不安の声があった。

子どもの声や煙、泥などが「騒音・迷惑」と捉えられる可能性に対し、周辺住民の理解をどう得るかという課題や「ボランティアだけで続けられるのか」「予算はどれくらいかかるのか」といった、継続的な運営体制へ不安と関心があった。

また、既存の子育て支援センターや公園との違いが、一般市民にとって分かりにくいという声もあった。

(3) 総括の主な内容

関戸博樹氏（特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会）から、以下の点が挙げられた。

1. 鶴岡市の「遊びに本気」な姿勢への高い評価

鶴岡市の遊び場整備の基本方針に「子どもがリスクに挑戦する」という言葉が明記されている点は、全国的に見ても非常に画期的である。これは、子どもが育つ上で必要な「経験の機会」を市が公的に保障するという、自治体の強い決意（本気度）の表れとして高く評価する。

2. 真の「安全・安心」の定義とは

一般的に安全とは「怪我をしないこと」と思われがちであるが、大人が先回りして制限ばかりを課す場所は、子どもの心の健康にとっては「安心できない場所」になりかねない。物理的な安全を確保した上で、子どもが自分の力で挑戦できる「自由」があることこそが、真に安心できる環境である。

3. プレーリーダーが果たす役割

大人は「子どものために」とつい口や手を出したくなるが、プレーリーダーの役割は、その介入をぐっと堪え、子どもの「やってみたい！」という意欲を温かく見守ることにある。大人の「良かれ」を抑え、子どもの主体性を尊重する専門職の存在は、現代社会において極めて重要である。

4. 「遊び」が一生の「学び」を支える土台になる

子ども時代の「いいこと思いついた！」というワクワク感や、失敗を繰り返しながら工夫する体験は、将来のあらゆる学びの基礎（架け橋）となる。この価値を地域全体で共有し、持続可能な活動として定着させていくことが、次年度以降の大きな課題である。

プレーパーク展開事業の総括

本年度実施した「プレーパーク展開事業（養成講座、体験会、報告会）」は、「プレーリーダーの養成」及び「プレーパークの普及・啓発」を目的に実施したが、一定の効果があったと考える。

また、現在整備検討を進めているプレーパークに対する期待感がある一方で、プレーパークの安全面や運営体制に対する不安の声もあるため、プレーリーダーの養成やプレーパーク活動の普及を継続していく必要があると思われる。

1. 得られた成果について

(1) プレーリーダー養成講座

●子どもの遊びへの理解と視点の変化

受講者は、本講座で、プレーリーダーの役割に関する知識の習得だけではなく、子どもとの関わり方を変えるだけで、子どもが本来持つ力が発揮できることを知ることができた。

●実践の重要性

座学だけでなく体験会での実践を交えたことで、実際の子どもの遊ぶ姿、動きを見ることができ、実践の重要性が認識された。

(2) プレーパーク体験会

●子どもの遊びへの理解

プレーパーク体験会の利用者からは、プレーパークの「自由な遊び」と「子どもを見守るスタッフ（プレーリーダー）の存在」に対する評価傾向が高く、「子どもにとっての遊びは学びである」というような感想があるように、プレーパークの特徴を伝えることができた。

2. 今後の対応・改善点について

●プレーパークを「支える人」の継続的な育成と、活動の場の確保

プレーリーダーの養成を継続的に行うことに加え、受講生が講座で得た知識や気持ち（やる気）を風化させないことが必要である。受講者が定期的に活動できるフィー

ルド(定期開催のプレーパーク等)を準備するや、受講者同士が現場での悩みや工夫を共有できるリフレクション(振り返り)の場、ワークショップなど、養成講座とは異なる学習や情報共有の場を作ることは、プレーリーダーの定着と成長だけでなく、仲間づくりや、プレーパーク活動の地域への普及にもつながった。

また、より専門性の高いプレーリーダーの養成を行う講座の開催も検討する必要がある。

●「地域全体で子どもを見守る、支える文化」の醸成に向けた活動

「危ないから禁止」ではなく、子どもの「やってみよう」を応援するプレーパークの考え方は、時に地域住民の理解を必要とする場面も想定される。プレーパークを広く普及するためには、近隣住民や多様な団体に対し、「なぜこの遊びが必要なのか」を丁寧に伝える必要がある。

また、プレーパーク及びプレーリーダーの活動を側面から支える「市民サポーター」の育成も並行して進める必要がある。プレーパークは、地域とともに子どもの遊びを支えることを大切にしているため、市民サポーターとして利用する子どもの保護者や地域住民も遊びに参画する(市民サポーター)仕組みづくりを行い、プレーリーダー養成講座において、興味ある講義のみに参加できる仕組みや、実地(体験会)におけるサポート体験など、気軽に学べる場をつくる必要がある。

－ 資料 －

「つるおかにプレーパークがやってきた！！」参加者アンケート

「つるおかにプレーパークがやってきた!!」参加者アンケート結果

作成者:特定非営利活動法人クリエイティブがしね

1. はじめに

本報告書は、令和7年10月5日(日)と10月26日(日)に開催された「つるおかにプレーパークがやってきた!!」の開催実績、および参加者の皆様から頂戴したアンケート調査の結果をまとめたものです。

2. 事業およびアンケートの概要

2.1 事業開催概要

事業名:プレーパーク体験会「つるおかにプレーパークがやってきた!!」

開催日時:令和7年10月5日(日)・10月26日(日) 両日ともに10:00~16:00

開催場所:鶴岡市中央児童館「ひろっぴあ」

2.2 アンケート実施概要

対象:事業参加者

調査方法:会場での紙配布/Googleフォームでの回答

3. アンケート有効回答数

・令和7年10月5日(日) 66件(内訳:会場60件、Googleフォーム6件)

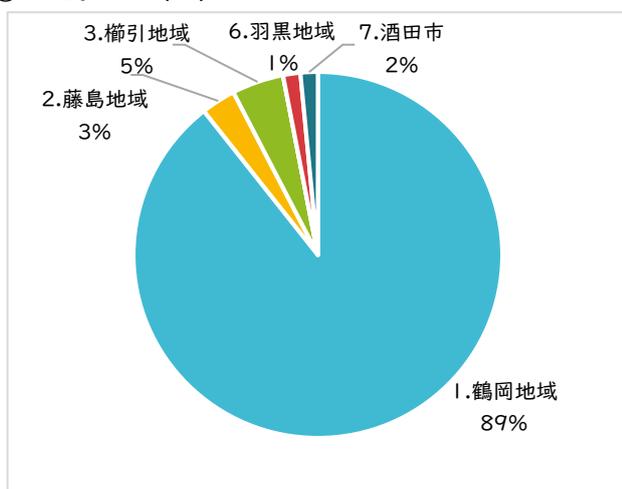
・令和7年10月26日(日) 26件(内訳:会場26件、Googleフォーム0件)

合計 92件(内訳:会場86件、Googleフォーム6件)

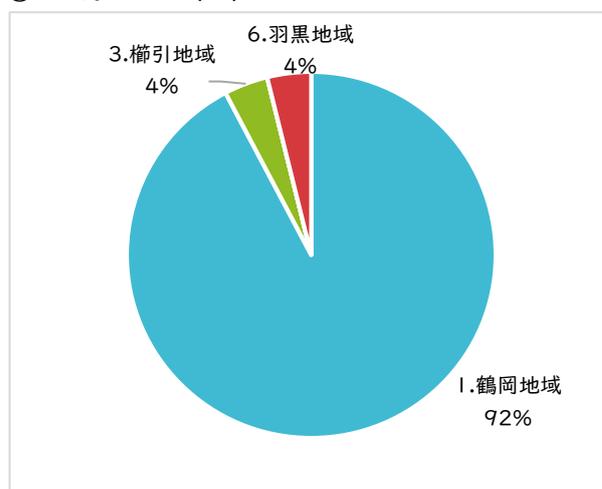
4. アンケート集計内容

4.1) あなたのお住まいを教えてください。

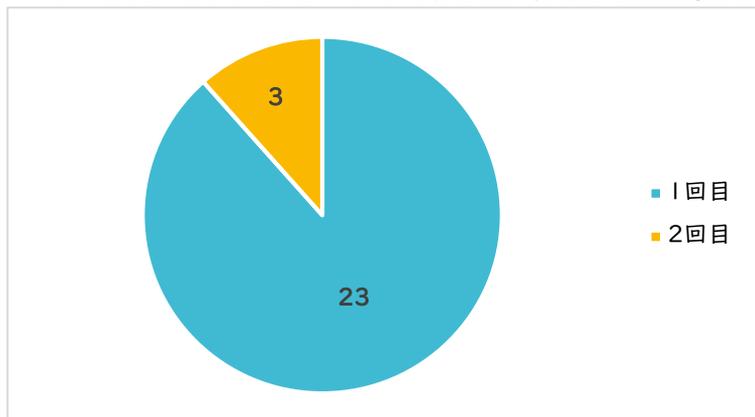
①10月5日(日)



②10月26日(日)



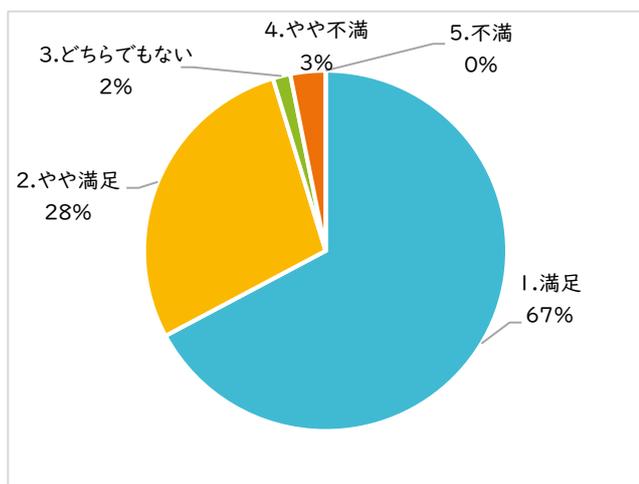
4.2) 10月26日(日)のみの質問。参加回数を教えてください。



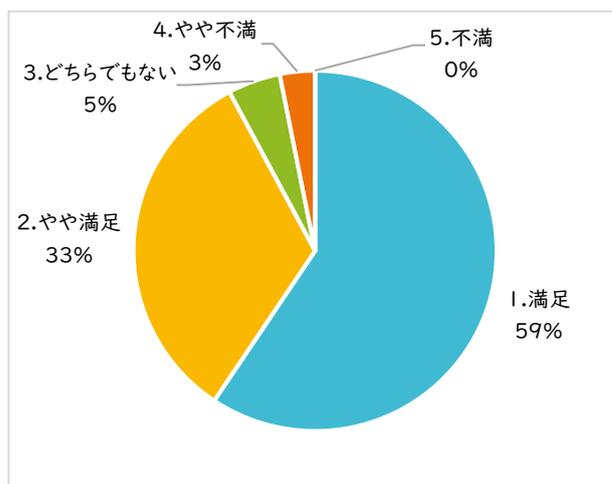
4.3) 今日のプレーパークの満足度を教えてください。

①10月5日(日)

【子どもの満足度】

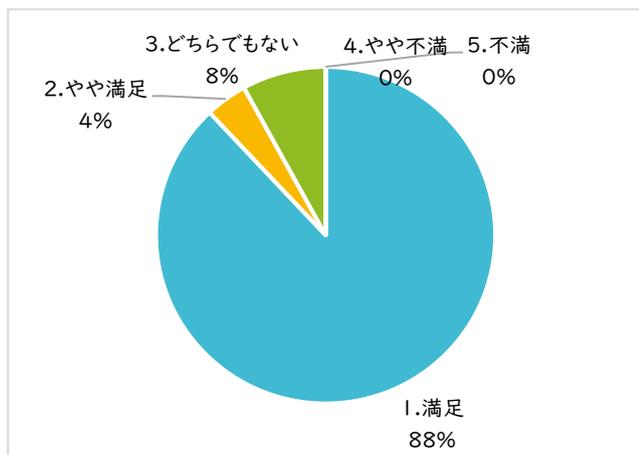


【大人の満足度】

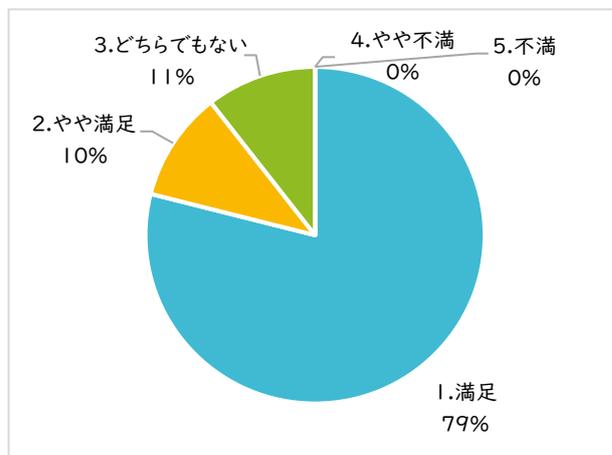


②10月26日(日)

【子どもの満足度】



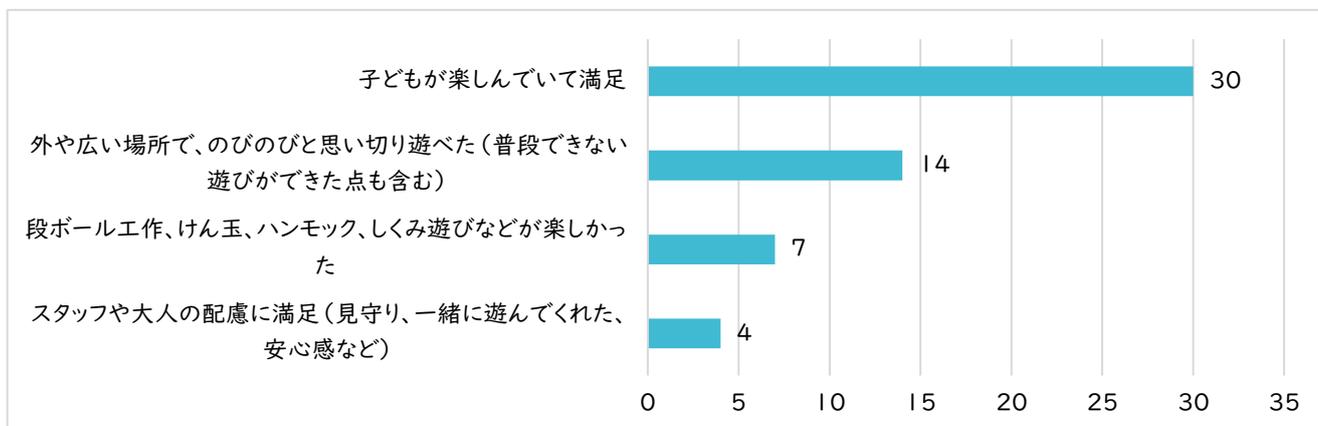
【大人の満足度】



4.4) その理由をお答えください。

①10月5日(日)

【よかった点】(回答数 53 件中 45 件)



1. 楽しめたから

「子どもが楽しんでいる満足」 30 件

<主な回答>

- 子どもが好きな遊びでじっくり遊べていたから。子どもがとても楽しんでいた。全力で遊べた。
- 子どもが汗だくでお腹が空いたのも忘れるくらい楽しんでいた。
- 楽しくなさそうだから行かないと言っていたのに、来たら友達とも会えてとても楽しそうに遊んでいた。

2. 外遊び・自然・広い場所がよかった

「外や広い場所で、のびのびと思い切り遊べた」 14 件

<主な回答>

- 天気も良く広い場所でのびのび遊べていた。普段できない汚れる遊びもできたから。
- 外遊び大好きなので、自然の中のびのびと遊べてとても楽しかったです。

3. 工作や遊具などの遊びが楽しかったから

「段ボール工作、けん玉、ハンモック、しくみ遊びなどが楽しかった」 7 件

<主な回答>

- ボールを転がすしかけが楽しかった。ハンモックが楽しかった。けん玉などに夢中になっていました。
- 自由に工作遊びができました。たくさんの段ボール!最高に楽しかったです。

4. スタッフ・大人に関する満足

「スタッフや大人の配慮に満足(見守り、一緒に遊んでくれた、安心感など)」 4 件

<主な回答>

- 大人はいい意味で傍観者となって、いい距離で成長を感じられた。色々な遊びがあって、スタッフさんが常にいてくれたこと。大人の人も多く安心感があった。一緒に遊んでくれる大人がいてくれたのもよかった。

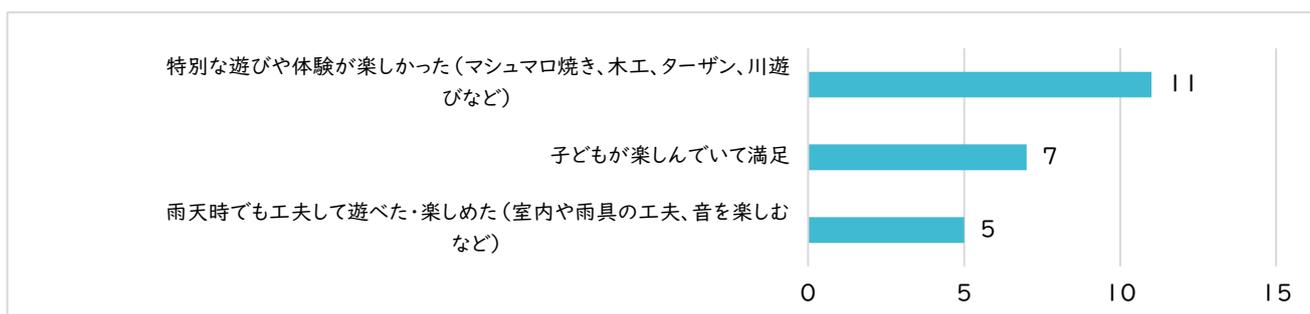
【改善点】(回答数 53 件中 8 件)

<主な回答>

- ガムテープやハサミなど少なかったのもう少し用意があればなど感じた。
- 遊べる道具や遊具が少なく、遊具がもっと設置されているか期待していたから、思ったより楽しめなかった。
- 6年生に合う遊び方がみつけれなかった。チラシだと大工(DIY)のようなものがあつたのでやりたかつた。

②10月26日(日)

【よかつた点】(回答数 27 件中 23 件)



1. 具体的な遊び・体験に関する満足

「特別な遊びや体験が楽しかつた(マシュマロ焼き、木工、ターザン、川遊びなど)」 11件

<主な回答>

- マシュマロや木工など様々な体験ができたから。普段できない遊びができて楽しかつたです
- 6才の子が、いつもできない砂遊びや、川で虫取り等とても夢中に楽しく遊べました。

2. 満足・楽しめたから

「子どもが楽しんでいて満足」 7件

<主な回答>

- 参加した子どもたちが楽しそうにしていた。子どもたちがのびのびととも楽しそうでした。
- 制限なく子どもが楽しく遊べた。

3. 雨天時でも楽しめたから

「雨天時でも工夫して遊べた・楽しめた(室内や雨具の工夫、音を楽しむなど)」 7件

<主な回答>

- 雨だつたけど楽しく遊べました。雨天でしたが、普段できないことに挑戦できました。
- あいにくの雨でしたが、雨の中でも楽しめるものを見つけて(土管など)遊んでいました。

【改善点】(回答数 27 件中 4 件)

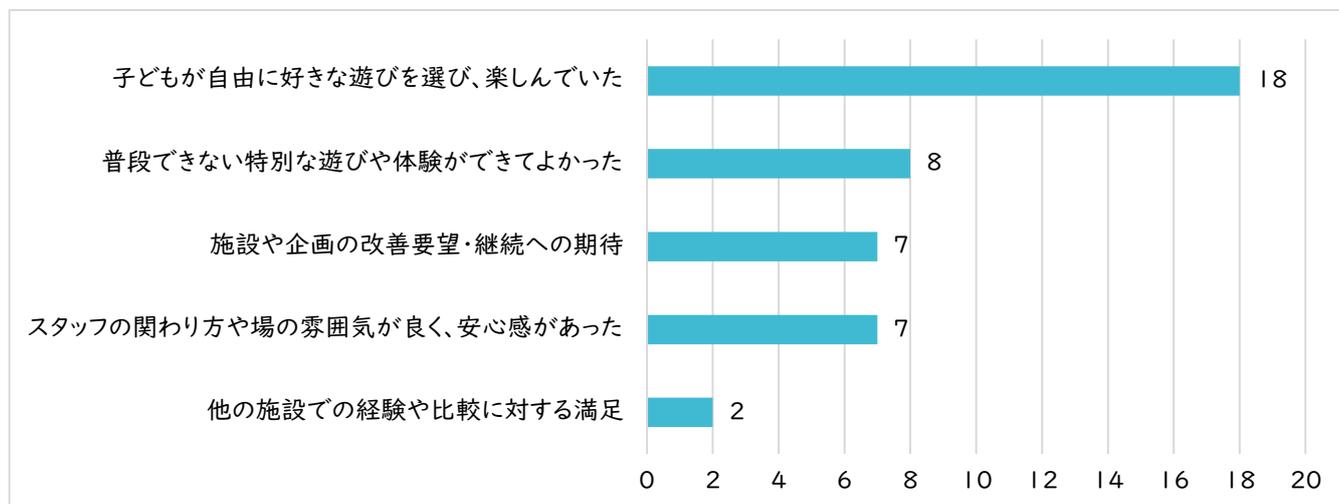
<主な回答>

- 雨天にて子どもが室内に行きたくなつてしまい、思い切り遊べなかつた。
- スタートしてすぐで、まだ出来る遊びが少なかつた。

4.5) プレーパークに参加してみたの感想を教えてください。

①10月5日(日)

【よかった点】(回答数44件中42件)



1. 満足・楽しめた(自由な遊び・全般的な満足)

「子どもが自由に好きな遊びを選び、楽しんでいた」 18件

<主な回答>

- 色々な遊びのブースがあるので、好きな遊びを自由に選んで遊んでいてとても楽しかったと思う。
- 楽しそうにしていました。子どもが自分で好きな遊びを楽しめる場でとてもよかった。
- 大満足!親も満足して遊びました。普段家ではできない遊びがたくさんできた。

2. 遊びの内容・体験に関する感想

「普段できない特別な遊びや体験ができてよかった」 8件

<主な回答>

- ダンボールで大きな部屋を作れて子供が満足していました。
- 遊びのアイデアがいろいろあって感心しました。
- こんなこともできるんだ!楽しいことがたくさんあった。子どもの興味が広がったと思う。

3. スタッフ・安心感に関する感想

「スタッフの関わり方や場の雰囲気が良く、安心感があった」 7件

<主な回答>

- 思う存分遊ぶことができた。担当の方々がいい感じで声掛けしてくれたり、一緒に遊んでくれたり、安心感がありました。
- いつもの児童館でいつもと違った遊びが出来たのでよかった。中央児童館の外側は大体は人がいなくてさみしい感じなので、にぎわっているのが良かった。
- 関わっている方が親切だった。のびのび遊べて安心して親も見守りできました。

4. 改善要望・期待

「施設や企画の改善要望・継続への期待」7件

<主な回答>

- 帰る時に温水シャワーがあるとさっと洗えて、なお嬉しいなと思いました。
- もっと広まればいいなと思いました。高学年の子が一人で遊べることを考え中。
- いつでもこの施設があればよい(常設の期待)

5. 比較・他所での経験に関する満足

「他の施設での経験や比較に対する満足」2件

<主な回答>

- 東根に何度かおじゃまさせてもらっていたので近くでこのような体験できてうれしかったです。
- 自然を感じながら子どもと遊べて親も楽しめました。

【改善点】(回答数 44 件中 2 件)

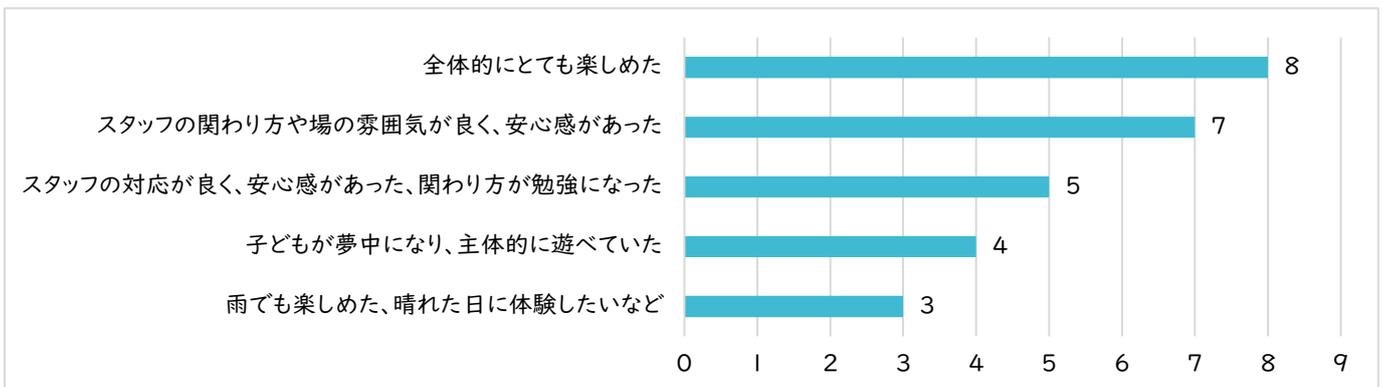
「不満・期待とのギャップ」2件

<主な回答>

- いつも通りの公園の遊具で遊んだ。
- プレーパークならではのワクワクが少なかった。

②10月26日(日)

【よかった点】(回答数 27 件中 27 件)



1. 満足・楽しめた(全般的な評価)

全体的にとっても楽しめた 8件

<主な回答>

- いろいろな体験ができて楽しかった。とても楽しかった。おもしろかった。初めて参加したけど、すっごく楽しい。

2. 特定の遊び・学び・経験に関する感想

普段できない特別な体験や学びがあった(火、木工、自然など) 7件

<主な回答>

- ふだん学べないことや作ることは楽しいことを学んだりできた。家では中々出来ない遊びがあり、よい経験に。
- たき火、木工などは体験する機会が少ないので良かったです。自然に触れたり最高でした!

3. 運営・スタッフ・環境への感想

スタッフの対応が良く、安心感があつた、関わり方が勉強になった 5件

<主な回答>

- スタッフの数がいて、安心感はあつた。スタッフの皆さん、ていねいに対応して頂き、子どもも楽しみながら工作する様子がみれて、連れて来てよかったと思った。職員さんの子どもとの関わり方も勉強になりました。

4. 子どもの様子・遊び方への感想

子どもが夢中になり、主体的に遊べていた 4件

<主な回答>

- ルールも必要なく、想像して楽しんでいた。友達と遊んで楽しかった。子どもと共に楽しめたのでよかった。

5. 天候に関する感想・要望

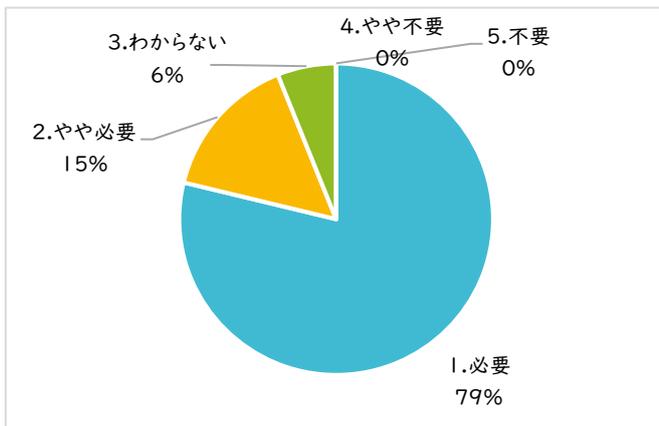
雨でも楽しめた、晴れた日に体験したいなど 3件

<主な回答>

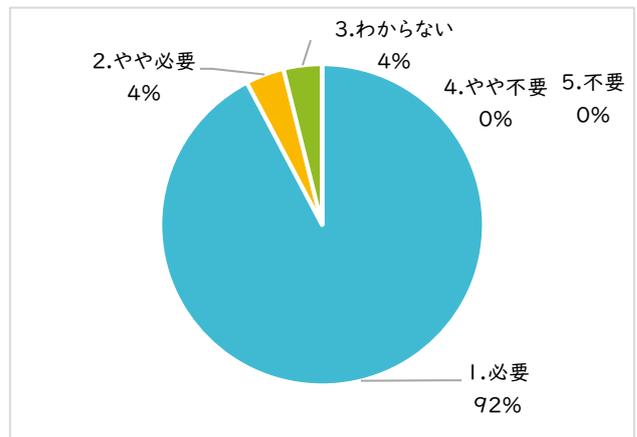
- 天気がいい日に体験してみたかった。雨だったが、マシュマロも食べて満足そうだった。
- 天気はまり良くなかったけど、遊び方を考えながら楽しめました。

4.6) 鶴岡市にプレーパークは必要と思いますか。

①10月5日(日)

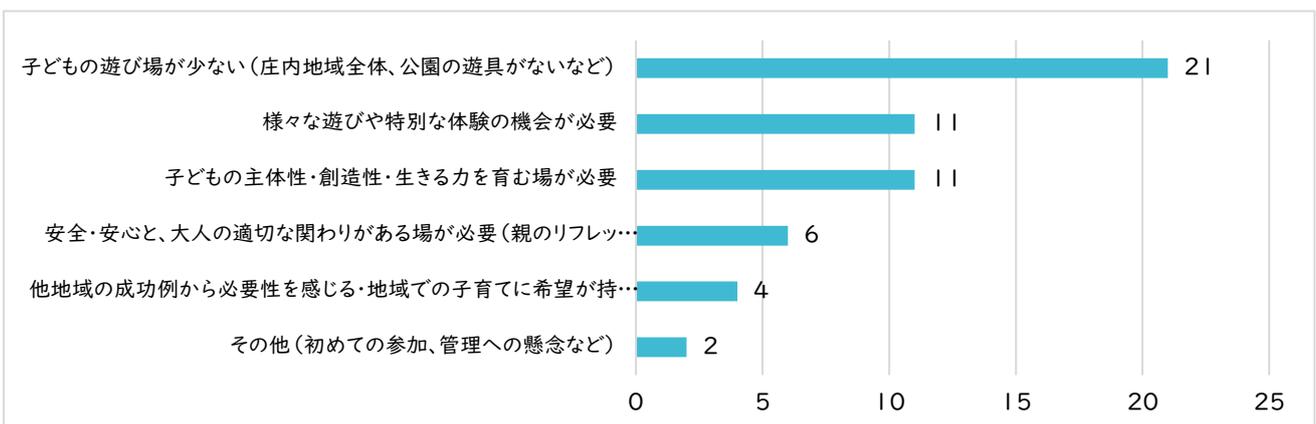


②10月26日(日)



4.7) その理由を教えてください。

①10月5日(日) (回答数 55 件)



1. 遊び場の不足・多様性の欠如

「子どもの遊び場が少ない(庄内地域全体、公園の遊具がないなど)」21件

<主な回答>

- 内陸の方に比べると庄内は子どもの遊び場が少なすぎる。遊び場が少なく週末いつも悩む。
- 公園の遊具がない所が多く、決まった所にだけたくさん人が集まって、なかなか好きな遊びができないことがある。市内にこのような施設がない。

2. 子どもの成長・主体性・学び

「子どもの主体性・創造性・生きる力を育む場が必要」11件

<主な回答>

- 子どもが主体になって、のびのび遊べる場が少ない。遊び=学びだと思う。学びは子どもの心を育てるから。
- 子どもの自主性が養われるから。外で自由に遊ぶ中で自然を感じ、これからの予測困難な時代を生きていくには、本当の生きる学びは遊びながら子どもが主体的に考え学んでいく環境の中にあると思う。

3. 体験の機会・遊びの質の向上

「様々な遊びや特別な体験の機会が必要」11件

<主な回答>

- 体も動かして工作などもできる場所が欲しい。屋外で色々な道具を使って遊べるのはとても楽しそうだった。
- 遊びの提案があり、大人も一緒に楽しく子どもと遊べるため。いつもと違う遊びや体験ができる。

4. 安心感・大人の関わり

「安全・安心と、大人の適切な関わりがある場が必要(親のリフレッシュも含む)」6件

<主な回答>

- 安心して遊べるところが欲しい。大人がしっかり遊びに向き合ってくれる場所がないので。
- 親自身もリフレッシュになったので。大人に囲まれながら、普段できない遊びを出来る場は貴重です。

5. 比較・前向きな声

「他地域の成功例から必要性を感じる・地域での子育てに希望が持てる」4件

<主な回答>

- 東根のあそびあランドに何度も足を運んでいます。庄内にもこんな遊び場があったらいいなどずっと思っていた。子どもの室内だけじゃない遊び場があると、この地域で子育てをしていくのに希望が少し持てます。

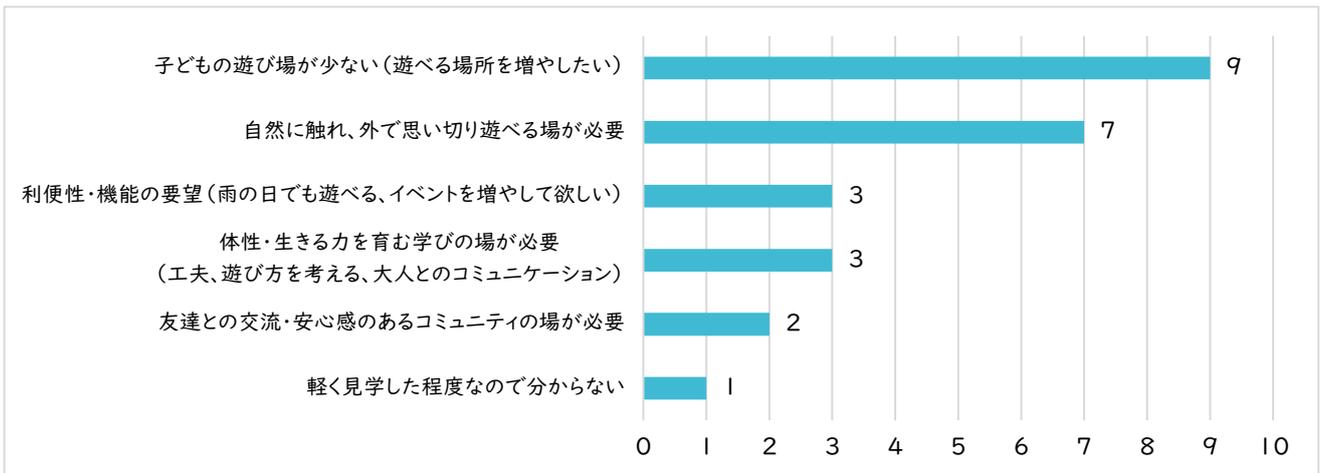
6. その他・不満

「その他」2件

<主な回答>

- 初めての参加だったのでわからない。管理する人がいないとケガがおきそう。(懸念)

②10月26日(日)(回答数:25件)



1. 遊び場の不足

「子どもの遊び場が少ない(遊べる場所を増やしたい) 9件

<主な回答>

- 鶴岡で遊ぶところ(遊び場・遊ぶ場所)が少ないから。
- 子どもの遊び場がもっと増えたらうれしい。

2. 自然・外遊びの機会創出

「自然に触れ、外で思い切り遊べる場が必要 7件

<主な回答>

- 自然豊かな立地を生かして、遊びこめる子どもたちを育てていける環境を造って頂きたい。
- 外で遊ぶ機会を増やしたい。家の近くだとクマの心配もあり、あまり遊べない。
- 自然と触れ合える機会があるといいと思うので。

3. 施設・利便性に関する要望

「利便性・機能の要望」3件

<主な回答>

- 雨の日でも、いつでも遊べるから。遊ぶところやイベントが少ない。

4. 子どもの成長・主体性の育成

「主体性・生きる力を育む学びの場が必要」3件

<主な回答>

- プレーパークがあると、どう工夫したらいいのかなどを学ぶことができるから。
- 外で遊び方を考えて自分で楽しめるように必要。
- 大人とのコミュニケーションや自然の遊び方、伝えられると思うから。

5. 地域・コミュニティ・安心感

「友達との交流・安心感のあるコミュニティの場が必要 2 件

<主な回答>

- 子どもの遊び場が多いと親も安心。
- 子どもが少ない中で、昔のように「〇〇ちゃんちで遊ぶから」が少なくなってきたから。他の友達と触れ合えるのがいいと思いました。

6. その他

「軽く見学した程度なので分からない」 1 件

「遊び場の不足」と「自然・外遊びの機会創出」が、プレーパークが必要とされる主要な理由であることが再確認されました。特に、「安全上の理由から外で自由に遊べない」という切実な課題が背景にあることが伺えます。

4.8) 子どもたちに質問！どんな遊びが好きですか？

カテゴリ	遊びの内容 (主なもの)	回答数
遊具・施設	ブランコ, すべり台, シーソー, 鉄棒, アスレチック, トランポリン, ターザン, ハンモック, そり, マット	23
工作・創造	工作, おえかき, 秘密基地, 段ボール工作, 木工, 折り紙, 小物づくり	21
運動	おにごっこ, かけっこ, 登る, 滑る, 大縄跳び,	19
水・砂遊び	砂遊び, 水遊び, プール, シャボン玉, 水鉄砲	14
知育	ピタゴラスイッチ, ブロック, 宝探しゲーム, 巨大迷路, ビー玉遊び, コリントゲーム	10
自然とのふれあい	虫探し・虫捕まえ, 魚捕まえ	9
自然体験・アウトドア	たき火, キャンプ, 川遊び, 木登り	7
ごっこ遊び	おうちごっこ, かくれんぼ, 人形遊び, ままごと, 剣遊び	5
ボール遊び	ドッチボール, ボール遊び, サッカー	4
乗り物関係	ラジコン, トミカ・プラレール, 車, 自転車	4
その他	外遊び	2
デジタルメディア	YouTube	1
合計		119

4.9) 大人の皆さんに質問！子どもに、どんな遊びをしてほしいですか？

カテゴリ	遊びの内容(主なもの)	回答数
自然体験・環境学習	自然とのふれあい,アウトドア,野外活動,川遊び,木登り,たき火,泥遊び,など 自然環境下で行う遊び全般	44
運動	体を動かす,走り回る,思い切り体を使う,外遊び	26
工作・創造	もの作り,創作,工作	13
自発性・自由	自由な遊び,自分で選ぶ,やりたいことをやる,好きなだけ遊ぶ	5
伝統	家庭ではできない遊び,昔の遊び,伝統的な遊び,	4
合計		92

4.10) その他ご自由にご記入ください。

- ・ 素敵なイベントだと思うのでこういう機会をたくさん作って欲しいです。
- ・ 鶴岡にこのような施設ができること嬉しく思います。高学年向けの遊び場も考えていただきたいです。幼児向けの遊び場が多いので、小中学生のためによろしく願います。
- ・ 絶対庄内に来て欲しいです！
- ・ 子どもは駆け回り自由に遊びを作るが最近は禁止されていることも多い。
- ・ 公園での自転車、ボール遊びさえ禁止の場所もある。
- ・ 普段家庭や学校でできる遊びではなく、大人が見守りながらも自由にちょっと危ないことができる環境が欲しい。木登り、川遊び、焚き火、最近では缶切りさえ貴重な体験で遊びだと思う。
- ・ 例えば大きな缶詰を自ら開け、おやつを作り空き缶での工作、缶ぽっくり、的あて、缶蹴りなど遊びは工夫すれば無限に生まれる。ちょっと指切っちゃうくらい立派な経験値。
- ・ 買って来た出来合いの安全な玩具でしか遊んだことのない子どもたちにただの木の棒、そこいら辺の石ころ、ロープ、かなづち、ノコギリなどの大人の工具も全部玩具にして楽しい遊びが作れることを学んで欲しい。そんな環境を育てて戴ければと思います。
- ・ 巨大おにごっこなどできるようなイベントをして欲しい。
- ・ 子どもと向き合い思う存分遊ぶことができる、今日のような日は大事だと思いました。またこのような機会があれば、お昼持参で家のことも終わらせて時間を気にせず遊びに来たいと思います。
- ・ 工作やお店屋さん体験などあったらいいな。
- ・ 運営お疲れ様です。ありがとうございました。
- ・ 今回このような企画本当にありがとうございました。子どもも大人も開放感いっぱい楽しかったです。
- ・ 雨が降って残念でしたが、すぐによくなり良かった。子どもたちは楽しかったようです。ありがとうございました。
- ・ プレーパークができる事願っています。プレーリーダーも興味あります。
- ・ 竹が数本あれば竹馬、竹とんぼ、流しそうめん、コップだって作れちゃうし炊飯もできる。
- ・ また来てね。
- ・ おやつを作るような何かがあっても良いかなと思いました。
- ・ 最初の組立て半分の管にサビがあり、危険だった。